

## コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-07 (為替ヘッジあり)(愛称:メジャー・カンパニーズ16-07) 第3期分配金は20円(1万口当たり、税引前)

2018年3月20日

平素は、『コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-07 (為替ヘッジあり) (愛称:メジャー・カンパニーズ16-07)』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、2018年3月19日に第3期計算期末を迎え、当期の収益分配金につきまして、組み入れているハイブリッド証券の利回り水準や配当等収益の水準、基準価額の水準等を総合的に勘案し、20円(1万口当たり、税引前)と致しましたことをご報告申し上げます。

なお、当ファンドの分配方針は以下のとおりとなっています。

- ① 分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれか多い額とします。
- ② 原則として、経費控除後の配当等収益の中から分配することをめざします。ただし、基準価額の水準等を勘案し、元本超過額も含めて分配を行なうことがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

### 《基準価額・純資産・分配の推移》

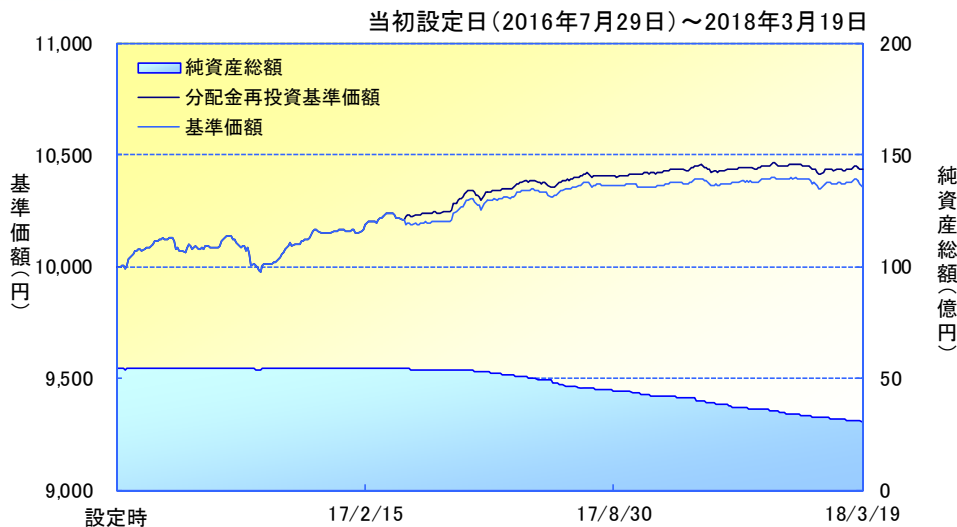
2018年3月19日現在

基準価額	10,353円
純資産総額	30億円

#### 《分配の推移》(1万口当たり、税引前)

決算期	(年/月/日)	分配金
第1期	(17/3/17)	40円
第2期	(17/9/19)	20円
第3期	(18/3/19)	20円

分配金合計額 設定来: 80円



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

## 《ファンドマネージャーのコメント》

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

※以下のコメントは、パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドが提供するコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

### 【投資環境】

直近6カ月のコーポレート・ハイブリッド証券市場は、欧州の国債金利上昇の影響を受けつつも、市場のリスク選好の強まりなどから、コーポレート・ハイブリッド証券のスプレッド（国債に対する上乗せ金利）が縮小したことにより、上昇しました。

欧州債券市場では、ドイツの3年国債利回りは上昇しました。2017年9月後半から年末にかけては、地政学リスクをめぐる懸念や次期FRB（米国連邦準備制度理事会）議長にパウエル氏が指名されたことなどが債券価格の上昇要因となった一方で、米国の税制改革への期待感や株式市場の上昇などが債券価格の下落要因となったことで、レンジ推移となりました。2018年2月上旬にかけては、欧米での金融正常化に向けた懸念等から、金利は上昇しました。2月から3月にかけては、米国の利上げペースを意識しつつ、レンジ取引となりました。

コーポレート・ハイブリッド証券については、リスク選好姿勢の強まりや需給面での下支えを背景に、スプレッドが縮小しました。ECB（欧州中央銀行）によるCSPP（社債購入プログラム）や低金利下で相対的に高い利回りを求める投資需要も、引き続き相場の支援材料となり、1月下旬にかけてタイト化が進みました。2月上旬以降は、米株市場の価格変動の高まりを受けて、スプレッドは拡大傾向に転じました。

### 【運用概況】

マザーファンドの運用にあたっては、ユーロ建てを中心に事業会社等が発行するハイブリッド証券へ投資を行い、ポートフォリオを構築しています。コールの実現性、格付け見通しなどのファンダメンタルズ分析を行い、銘柄の選定を行いました。

なお、当ファンドでは、為替変動リスクの低減を図るため、為替ヘッジを行いました。

### 【今後の運用方針】

ECBによる金融緩和の縮小観測が高まるに連れて、欧州主要国の金利の上昇が懸念されることや、地政学リスクの高まり、企業業績の回復に伴う株主重視の財務戦略は、コーポレート・ハイブリッド証券市場にとって、リスク要因と考えています。

一方、欧州のマクロ経済環境の改善傾向や欧州企業の業績回復傾向といったコーポレート・ハイブリッド証券市場を取り巻く投資環境は、引き続き良好な状態が継続するとみています。また、ECBによるCSPPも引き続き投資適格債の支援材料となると考えられるほか、相対的に高い利回りを求める投資家の需要も、コーポレート・ハイブリッド証券市場を下支えする見込みです。

当ファンドでは引き続き、リスク対比で魅力的な利回りが期待される事業会社等の発行するハイブリッド証券を中心に投資を行っていく方針です。

## コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-07 (為替ヘッジあり)(愛称:メジャー・カンパニーズ16-07)

ご購入の申し込みはできません。

### ファンドの目的・特色

#### ファンドの目的

- 世界のハイブリッド証券等に投資し、高利回りの獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

#### ファンドの特色

1. 世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資します。
    - ◆ハイブリッド証券とは、債券と株式\*の性質を併せ持つ(ハイブリッド)証券であり、劣後債および優先証券があります。  
\*株式と連動して証券価格が変動するものではありません。
    - ◆一般に国債や普通社債と比較して、信用リスクが高いことやハイブリッド証券固有のリスクなどにより、利回りが高いという特徴があります。  
※ハイブリッド証券固有のリスクには、法的弁済順位が劣後するリスク、繰上償還延期リスク、利払繰延リスクなどがあります。
    - ◆世界の企業には、金融機関を含みます。金融機関についてはG-SIFsに指定されているものとします。
    - ◆証券の格付けは、取得時において投資適格\*の格付けを有する銘柄を中心とします。  
なお、利回り水準や流動性を加味した上で、投資適格未満の格付けを有する銘柄にも投資します。  
\*ムーディーズでBaa3以上またはS&PもしくはフィッチでBBB-以上
    - ◆信託期間内に満期償還される銘柄および繰上償還や買入消却等が見込まれる銘柄に投資します。  
※組入銘柄の償還や買入消却等に伴い再投資する際は、普通社債または先進国の国債に投資することがあります。
  2. 運用は、パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドが行ないます。
  3. 為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。
  4. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
    - マザーファンドは、「コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>」です。
- ※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

### 投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「ハイブリッド証券の価格変動(価格変動リスク・信用リスク)」、「ハイブリッド証券固有のリスク(劣後リスク(法的弁済順位が劣後するリスク)・繰上償還延期リスク・利払繰延リスク)」、「公社債の価格変動(価格変動リスク・信用リスク)」、「特定の業種への集中投資リスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※ハイブリッド証券に関する規制や基準の変更等がハイブリッド証券市場に大きな影響を及ぼす可能性があります。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

## コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-07 (為替ヘッジあり)(愛称:メジャー・カンパニーズ16-07)

ご購入の申し込みはできません。

### ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	ご購入の申し込みはできません。	-
信託財産留保額	0.3%	換金に伴い必要となる費用等を賄うため、換金代金から控除され、信託財産に繰入れられる額。換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.4688% (税抜 1.36%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用:

**大和投資信託**

Daiwa Asset Management

商号等

大和証券投資信託委託株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-07（為替ヘッジあり）（愛称：メジャー・カンパニーズ16-07） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社沖縄銀行	登録金融機関	沖縄総合事務局長(登金)第1号	○			
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○			

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。